

Shinko Hospital

## Medical News

### Information

#### Information 1

##### 講演会のご案内

###### ■ オーダーメイド医療研究会

- 日 時：平成24年4月19日（木）18:30～19:30
- 場 所：神鋼病院3階『講堂』（神戸市中央区脇浜町1-4-47 Tel：078-261-6711）
- 講演内容：『呼吸器疾患診療の最前線』
- 担 当：神鋼病院 呼吸器センター センター長 鈴木 雄二郎

###### ■ オーダーメイド医療研究会

- 日 時：平成24年5月24日（木）18:30～19:30
- 場 所：神鋼病院3階『講堂』（神戸市中央区脇浜町1-4-47 Tel：078-261-6711）
- 講演内容：『悪性腫瘍診療の最前線』
- 担 当：神鋼病院 外来化学療法センター センター長 草間 俊行

###### ■ 兵庫リウマチチーム医療研究会

- 日 時：平成24年5月26日（木）16:00～19:10（開場15:30）
- 場 所：ホテルオークラ神戸1階『平安の間』（神戸市中央区波止場町2-1 Tel：078-333-0111）
- 参 加 費：500円
- 一般演題：座長—神鋼病院膠原病リウマチ科 科長 辻 剛・甲南加古川病院 藤本 晶子先生
  1. 「リウマチ患者の日常生活における工夫」
  2. 「生物学的製剤治療におけるリウマチ看護」
  3. 「関節リウマチに対する頸椎装具の紹介」
  4. 「手指機能や握力に依存せず簡単に絞れる「ふきん絞り器」の開発と性能評価調査」
- ミニレクチャー：座長—神鋼病院整形外科 科長 武富 雅則
  - 「自助具を活かした生活支援」
  - 甲南加古川病院 リハビリテーション部
  - 神戸大学大学院保健学研究科 作業療法士 松尾 絹絵 先生
- 教育講演：座長—神戸大学大学院保健学研究科 準教授 三浦 靖史 先生
  - 「関節リウマチ治療の地域医療連携」
  - 新潟県立リウマチセンター 院長 村澤 章 先生

#### Information 2

##### 退職医師のご紹介

- |         |     |       |          |     |       |
|---------|-----|-------|----------|-----|-------|
| □ 総合内科  | 専修医 | 福光 研介 | □ 脳神経外科  | 医長  | 朝日 稔  |
| □ 循環器内科 | 医師  | 望月 泰秀 | □ 泌尿器科   | 医長  | 重村 克巳 |
| □ 外科    | 専修医 | 岡 ゆりか | □ 〃      | 医長  | 山崎 隆文 |
| □ 整形外科  | 医長  | 上村 正樹 | □ 〃      | 専修医 | 角井 健太 |
| □ 〃     | 医師  | 京 英紀  | □ 麻酔科    | 専修医 | 井口 みお |
| □ 〃     | 専修医 | 小佐野 圭 | □ 健診センター | 医長  | 仲本 雅子 |
| □ 形成外科  | 医師  | 時吉 貴宏 |          |     |       |

呼吸器センターの紹介

脳神経外科 新体制について

Information

- ・講演会のご案内
- ・退職医師のご紹介

#### ■ 神鋼病院理念

地域医療に貢献し、信頼される病院を目指します。

#### ■ 基本方針

1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。

#### 医療法人社団 神鋼会 神鋼病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47  
 TEL：078-261-6711（代表）  
 FAX：078-261-6726  
 発行責任者：病院長 山本 正之  
 編集責任者：神鋼病院広報委員長 山神 和彦

# 2012年5月 呼吸器センターが 生まれ変わります

呼吸器内科・呼吸器外科を連結した外来を新設。あらゆる呼吸器疾患の診断・治療に迅速に対応することを目標にしています。

2007年10月に私どもは呼吸器センターの開設を宣言し、あらゆる呼吸器疾患の診断・治療に迅速に対応することを目標にしてまいりました。

例えば、切除可能肺がんの症例は呼吸器内科外来初診時より、呼吸器外科にて切除し退院可能になるまで1ヶ月以内とすることをほぼ達成しましたし、外来化学療法室や放射線科との連携もより密接に行ってまいりました。この間、地域の先生方よりの紹介も格段に増加してきました。しかしながら、呼吸器センター開設は私も内部の連携の決意表明であり、実際には看板一つないバーチャルセン

ターでした。

今回、新外来管理棟を新設するにあたり、従来までの外来とつながる1フロアーを専用に使って、呼吸器内科・呼吸器外科外来を連結した外来を新設し、呼吸器センターの看板をたてることになりました。

ここには、新型インフルエンザ発生の場合に通常の患者さんとは別の入り口からはいる陰圧診察室も設けています。まさに私どもに不都合なほど立派な外来施設ですが、今後さらに気を引き締めて、呼吸器疾患の診断・治療にあたり、地域に貢献したいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



呼吸器センター長

鈴木 雄二郎  
Yujiro Suzuki

- 神鋼病院副院長 兼 呼吸器センター長  
 京都大学 昭和57年卒業
- ・日本内科学会認定内科医及び指導医
  - ・近畿支部会評議員
  - ・日本呼吸器学会専門医及び指導医
  - ・日本呼吸器内視鏡学会指導医及び気管支鏡専門医
  - ・日本結核病学会評議員

# 呼吸器内科

早期診断、早期治療を念頭に掲げ、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科が一体となつて診療にあたっております。

## 呼吸器センター開設にあたって

高齢化、環境の変化に伴い世界的に呼吸器疾患の患者数は増加傾向にあります。WHOが2020年における世界の死亡原因を予測したデータを発表しています。それによりまずと死因の上位10疾患に呼吸器疾患が4疾患（COPD、肺炎、肺癌、結核）挙げられており、世界的に呼吸器疾患の位置づけが重要になってくることかうかがえます。

一方本邦の2010年のデータでは死因の第1位に悪性新生物（うち最多は肺癌（約20%）、4位に肺炎、9位にCOPDと本邦においても呼吸器疾患が占める割合が多い状況です。さらに喘息による死亡数は治療薬の開発、普及により年々減少してきている

# 呼吸器外科

呼吸器内科と呼吸器外科が連携することにより、外来受診から検査、診断、手術までの一連の治療を最短で行うことが可能になっていきます。

## 各診療科と密に連携をとることが大切

呼吸器外科が開設され、6年が経過しました。2007年からは日本呼吸器外科学会の認定施設となり、2007年10月からは呼吸器センターを標榜しています。現在、呼吸器外科スタッフは3人体制となり、呼吸器センターとして呼吸器外科領域においても専門性の高い医療を提供できるように日々診療に励んでおります。

当院の呼吸器センターの特徴は呼吸器内科・外科の連携がしっかりとれている点です。入院・外来診療の連携をはじめ、カンファレンス、回診、検査等を常に行っており、外来受診から検査、診断、手術までの一連の治療を最短で行うことが可能となっております。

ものの、罹患数700万人とも推定される本疾患は他のアレルギー疾患とともに年々増加傾向にあり、社会的、経済的負担はまだ多々です。このような状況下、私たちに課せられる責務は益々大きくなっていくと考えております。

## 肺がん診療について

呼吸器疾患の中でも大きな位置づけを占める肺癌診療に關しましては、早期診断、早期治療を念頭に掲げ、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科が一体となつて診療にあたつてまいりました。外来通院が可能な方には外来化学療法室で化学療法を継続いただき、在宅での支援が必要な患者さんには地域の先生方にご助力をいただくなど、患者さんへのADL、QOLを低下させないよう努めております。

## 高いレベルでの治療の提供を心がけて

当院の喘息、COPD患者さんは合わせて900名程いらっしゃると思いますが、ガイドラインに沿った診療を行っております。急性増悪をきたした際には日中はもとより当直医協力の夜間も対応しております。

生活習慣病の増悪因子、突然死の原因疾患として注目を集めている睡眠時無呼吸の診療につきましては、現在週3回ポリソムノグラフィー検査を行っており、検査件数は年間100件程になっています。呼吸器感染症や間質性肺炎の症例も多く、それぞれの疾患に対し高いレベルで治療を提供できるよう心がけております。

お陰さまで開業医の先生方、他病院から多くの患者さんをご紹介いただき、症例数は年々増加しております。この度呼吸器センターの外来管理棟が開設されることで診察室も増え、より多くの患者さんを円滑に診察することが可能になります。さらに診察室が並列される呼吸器外科との連携もよりスムーズになると考えており、患者さんにこれまで以上に良い医療を提供できる環境になると思っております。スタッフ一同これまで以上に努力と研鑽を重ねていく所存であります。今後ともよろしくお願いいたします。

は徐々に増加してきております。気胸も力をいれている分野で、手術を積極的に行っております。

当科では傷が小さい胸腔鏡下手術を取り入れており、より低侵襲な治療を行えるように努力しております。実際、手術による入院期間は以前より短縮できております。また進行肺癌には根治度を上げるための誘導療法も積極的に取り組んでいます。

最近手術で摘出した肺癌標本を用いて、各種バイオマーカーの免疫染色を評価することで個々人の肺癌に感受性の高い抗癌剤を選択することが可能となりました。今までの画一的な抗癌剤治療から、より効果の高いオーダーメイド治療を行うことで成績の向上を目指しております。

これからも肺癌診療をはじめ、呼吸器外科領域での進歩を学び、医療の現場に還元出来るよう努めていきます。近隣の先生方におかれましては、今後ともご支援の程宜しくお願い致します。

## 当科の取り組み

2011年の手術数は120例でした。肺悪性腫瘍は68例（肺癌61例）で、その他の気胸、縦隔腫瘍、縦隔鏡、生検等は52例でした。肺癌症例

□ 過去4年間の手術実績



呼吸器外科 医長  
**中島 成康**  
Nariyasu Nakashima  
香川大学 平成14年卒  
日本外科学会専門医  
癌治療認定医  
厚生労働省公認DMAT隊員



呼吸器外科 医長  
**柁屋 大輝**  
Daiki Masuya  
香川医科大学 平成10年卒  
日本呼吸器外科学会専門医  
日本外科学会専門医  
日本呼吸器内視鏡学会専門医  
がん治療認定医  
CT健診認定医



呼吸器内科 医長  
**松岡 弘典**  
Hirofumi Matsuo  
高知医科大学 平成11年卒  
日本内科学会認定医  
総合内科専門医および指導医  
日本呼吸器学会専門医  
日本アレルギー学会専門医



呼吸器内科 医長  
**吉松 昭和**  
Harukazu Yoshimatsu  
山口大学 平成6年卒  
日本内科学会指導医

## 新体制について

副院長 平井 収

1993年4月に神鋼病院 脳神経外科医長として入職してから19年が経過しました。これからも副院長としての管理業務その他は続けますが、今春より診療科長は辞し脳外科診療に関しては側面からのサポートにまわることになりました。

着任当時の神鋼病院は円形の旧病院で規模もはるかに小さく、救急もほとんどやっていないのんびりした病院でした。新病院に移転した後は救急も活性化し、近隣の諸先生方とも良好な病診連携を築くことが出来たと思っております。後任の上野泰先生は現在神戸中央市民病院で2番手として活躍をしている方で、顕微鏡手術の卓越した技術だけでなく、血管内治療・神経内視鏡も専門医を取得しているので守備範囲は大いに広がり、今後若いスタッフも増えて一気に活性化することは確実です。生まれ変わる神鋼病院脳神経外科にご期待下さい。

# 脳神経外科 新体制で始動

脳卒中を専門とする内科医、放射線科医、脳卒中専門ナースも引き入れた本格的な脳卒中 [stroke] チームを作るために、脳神経外科チームとして一歩ずつ体制を固めていきたい。



脳神経外科 部長

上野 泰  
Yasushi Ueno

京都大学 平成4年卒  
日本脳神経外科学会専門医  
日本脳卒中学会専門医  
日本脳神経血管内治療学会専門医  
日本がん治療認定医機構認定医  
日本神経内視鏡学会技術認定医

## 就任のご挨拶

部長 上野 泰

この度、神鋼病院の脳神経外科を担当させて頂く事に成りました。上野 泰と申します。宜しくお願い致します。

私にとりまして神鋼病院は「初めまして」ではなく「ただいま」です。平成4年京都大学を卒業後、平成7年の震災の年までの3年間、先代の近藤祐之部長、そして現在の平井 収副院長の元で研修医としてお世話になりました。医師としての基礎を作って頂き、様々なご迷惑をお掛けしながらも温かい目で見守っていただいた神鋼病院で、再び自分の培って来た道で、神戸の皆様のお役にたてる事は、まさに望外の喜びです。

震災の年に神戸を離れ、7年前に前任地の神戸市立医療センター中央市民病院に赴任となり、久方ぶりに懐かしく、愛着のある神戸の街に戻ってまいりました。

この度はその前任地の神戸市立医療センター中央市民病

院と一緒に働いておりました蔵本要二先生、篠田成英先生と三名セットでお招きいただきました。

## 脳卒中の脳血管内手術を診療の礎に添えて

メンバーを見ても判りやすいように、これからの神鋼病院脳神経外科は、神戸市立医療センター中央市民病院脳外科・脳卒中チームと臨床や研究等の面で協力・連携する方針です。

具体的には、昨今の脳神経外科医療における最大の発展分野である脳卒中の脳血管内手術を診療の礎に添え、相互の診療連携・外来・治療・紹介・逆紹介を進めたいと考えております。

また、治療方針や診療データベースを一本化し、画像データにより瞬時に診断・治療方針を検討し治療を行います。治療チームも相互に乗り入れ、お互いの得意分野を補ってよりハイレベルの診療を目指します。

## 本格的な脳卒中チームを目指して

血管内治療とは従来開頭手術が主流であった脳血管病変に対し、血管の内側からカテーテルを用いて治療するもので、より患者さんに優しく、低侵襲で、テクノロジーの進歩と相まって今後もますます発展することが予想されている分野です。従来の外科治療と血管内治療をバランスよく組み合わせ、より新しい治療の形態を築いていきたいと考えております。

更に数年内に脳卒中を専門とする内科医、放射線科医、脳卒中専門ナースも引き入れた本格的な脳卒中 (stroke) チームを作ればと思っております。早速新しいFPDアンギオ装置とSCU (stroke care unit) の設置を計画しております。これまでの神鋼病院の伝統を受け継ぎつつ、更に進化した脳神経外科チームをめざし一歩ずつ体制を固めていく所存です。

私は主に脳血管障害の外科手術、頭蓋底腫瘍などの腫瘍

手術、神経減圧術等の機能的手術、脊髄外科手術の研究を積んで参りました。蔵本先生は神戸市立医療センター中央市民病院の急性期脳血管内治療をほぼ一手に引き受けてきた若手の逸材で、血管内治療の専門医であると同時にパーキンソン病の外科手術などの特異分野にも習熟しており、篠田先生はその弟子的存在です。脳神経外科に関する全ての疾患に対応させて頂く事が出来るかと自負しております。

## お声かけ

私が目指しているのは、神戸市民の皆さんが、ご自分があるいはご家族、お知り合いが脳神経外科に関わるご病気になられた際、安心して、迷うことなく、自信をもって、この神鋼病院脳神経外科を選んで頂ける、勤めて頂ける、そういうクリニックにしたいという事に尽きます。どうぞ宜しくお願いいたします。

# Neurosurgery

## Greeting



脳神経外科 医師  
篠田 成英  
Narihide Shinoda  
鳥取大学 平成19年卒

初めまして。私は神戸出身で、地元神戸高校を卒業後鳥取大学医学を卒業いたしました。上野・蔵本先生の元で、脳卒中・脳血管障害の外科的治療・脳血管内治療を前任の神戸市立医療センター中央市民病院で5年間学んで参りました。

この度、引き続き地元神戸で、脳神経外科救急を中心に少しでも皆様のお役に立てることを大変うれしく思っています。若輩者ですがよろしく願い致します。



脳神経外科 医長  
蔵本 要二  
Youji Kuramoto  
徳島大学 平成14年卒  
日本脳神経外科学会専門医  
日本脳神経血管内治療学会専門医  
日本脳卒中学会専門医

初めまして。私はこれまで脳卒中・脳血管障害の外科的治療、その中でも脳血管内治療の技術向上のため、前任の神戸市立医療センター中央市民病院で延べ7年間研鑽を積んで参りました。脳卒中を中心とした脳神経外科救急において、少しでも地域のお役に立てればと考えております。

また、パーキンソン病への脳深部刺激療法や痙縮へのバクロフェン髄注療法を中央市民病院で担当しており、今後も二病院で連携をしながら診療を継続していく予定です。該当疾患がございましたら御紹介いただければ幸いです。若輩者ですがよろしく願い致します。